

問1 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？

1. 後白河天皇 2. 後鳥羽天皇 3. 後醍醐天皇 4. 後深草天皇

問2 下剋上の風潮の中で、守護大名が衰えた後に各地で登場した新しい支配者のことを何という？

1. 国司 2. 公家 3. 守護大名 4. 戦国大名

問3 室町幕府の体制において、将軍の補佐役を務め、地方統政を担う重要な機関でもあった役職を何という？

1. 管領 2. 評定衆 3. 執権 4. 探題

問4 首里を都とする琉球王国が、東アジアと東南アジアの間に立って行った経済活動を何といいますか？

1. 朝貢貿易 2. 勘合貿易 3. 中継貿易 4. 南蛮貿易

問5 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？

1. 勘合貿易 2. 南蛮貿易 3. 朝貢貿易 4. 中継貿易

問6 浦島伝説が収められている、奈良時代に編集された日本最古の歌集を何という？

1. 万葉集 2. 新古今和歌集 3. 古今和歌集 4. 拾遺和歌集

問7 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？

1. 加賀国 2. 大和国 3. 山城国 4. 伊賀国

問8 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？

1. 佐敷 2. 那覇 3. 浦添 4. 首里

問9 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

1. 後醍醐天皇 2. 足利義満 3. 光厳天皇 4. 足利尊氏

問10 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

1. 枕草子 2. 御成敗式目 3. 方丈記 4. 二条河原の落書

問11 尚氏が沖縄本島を統一し、琉球王国を建てた時期はいつ頃？

1. 15世紀 2. 17世紀 3. 16世紀 4. 14世紀

問12 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？

1. 伊勢国 2. 近江国 3. 大和国 4. 山城国

問13 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた「七・五・七・五」を基調とするリズムを何といいますか？

1. 七五調 2. 五七調 3. 五五調 4. 七七調

問14 堺などのような、海上輸送の拠点として栄え、商人が集まる町のことを一般的に何という？

1. 港町 2. 城下町 3. 宿場町 4. 門前町

問15 京都を中心として栄え、わび・さびを特徴とする室町時代の文化を何という？

1. 北山文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 東山文化

問16 室町時代に信仰を基盤として団結した民衆が、領主に抵抗して起こした武装蜂起を何というか？

1. 日蓮宗 2. 禅宗 3. 浄土真宗 4. 浄土宗

答え合わせ・解説

問1	答え 3 後醍醐天皇	しかし、この政治は急進的な改革が多く、武士の恩賞問題などが解決されなかったため、多くの不満を招きました。1334年に京都の二条河原に立てられた落書は、この無秩序な世相や公家による政治への批判を、七五調で風刺したものです。
問2	答え 4 戦国大名	戦国大名は、領民を直接掌握し、分国法を作るなどして独自の領地支配を行いました。彼らは城を拠点とし、軍事と行政を一体化させて、自分の領地を強く支配しようとしました。
問3	答え 1 管領	管領は、足利氏の一門である有力な守護大名（斯波氏、細川氏、畠山氏）が交替で務めた役職で、将軍を助けて幕府の政治や行政を統括しました。鎌倉府のような地方機関が力を強める中、中央の幕府を支える要としての役割を果たしました。
問4	答え 3 中継貿易	琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく中継貿易を行いました。これにより莫大な富を得て繁栄しました。
問5	答え 1 勘合貿易	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。これにより倭寇と区別され、円滑で利益の大きい貿易が可能となりました。細川氏や大内氏といった有力な守護大名がこの貿易の実権を争い、大きな利益を得ました。
問6	答え 1 万葉集	万葉集は、天皇や貴族だけでなく、防人や名もなき人々が詠んだ歌を約4500首も集めた巨大な歌集です。その中には浦島太郎の原型となる物語が含まれており、後世の文学や絵入りの物語に多大な影響を与えました。
問7	答え 1 加賀国	加賀国では、蓮如の布教によって浄土真宗が深く浸透しました。門徒たちは結託して守護大名を追放し、その後約100年間にわたり、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるほど、民衆自身による自治を実現しました。
問8	答え 4 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産物を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問9	答え 1 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。
問10	答え 4 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問11	答え 1 15世紀	15世紀に入り、尚巴志が各地の勢力を平定して沖縄本島を統一し、琉球王国を建国しました。この国は、東アジアの海域ネットワークの中心として、中国や日本、東南アジアとの中継貿易によって大きな繁栄を遂げました。
問12	答え 2 近江国	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。馬借とは馬を使って荷物を運ぶ運送業者で、この時代の流通において重要な役割を果たしていました。彼らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の破棄を求めた動きは瞬く間に近畿地方全体へと広がりました。
問13	答え 1 七五調	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「七五調」のリズムで表現しました。これにより、多くの人々に内容が伝わり、政治的な批判が庶民の間にまで浸透しました。
問14	答え 1 港町	港町は、船による海上輸送の拠点として、国内外の物資が荷揚げされる場です。堺は大阪湾の港町として、国内外との交易を通じて発展しました。そこには商人たちが店を構え、倉庫を建て、金融業も発達しました。
問15	答え 4 東山文化	東山文化は、禅宗の影響を強く受けているのが特徴です。簡素で落ち着いた「わび・さび」の精神が重視され、書院造の原型や水墨画、能楽などが大きく発展しました。これまでの武家文化と公家文化が融合し、現代の日本文化にもつながる大きな影響を与えました。
問16	答え 3 浄土真宗	浄土真宗は「悪人正機」の教えを掲げ、身分に関係なく救われることを説いたため、農民や商人たちに深く浸透しました。共通の信仰で結ばれた門徒たちは、寺院を中心に強固な団結力を持ちました。この団結が、守護大名に対抗する際の大きな力となり、各地で武装蜂起を起こす原動力となりました。